

——— 〈情報連絡員報告・5月分〉 ———

新型肺炎（SARS）流行で中国品が入らず国内に注文が… ～シックハウス対策は木材、塗料、建具などの業界に影響～

——— 〈東京都中央会〉 ———

5月の情報連絡員報告によると、「業界の景況」の前年同月比DIは製造業で-49.2と4月より悪化したが、非製造業では-44.7と4月より好転したことが明らかになった。また「売上高」の前年同月比DIは、製造業-33.8、非製造業-31.8と両業種とも低下している。報告欄には「SARSの流行で中国から商品が入らず、国内に注文が来て喜んでいる」「シックハウス症候群対策に苦慮している」等の声が寄せられている。製造業65人、非製造業85人、計150人の集計。

〈特記事項欄より〉

帽子製造=SARS問題で中国からの輸入帽子が減っている。そのため商品不足になり国内メーカーに注文が来てひそかに喜んでいる。

建具製造=7月より施行される「改正建築基準法」のシックハウス対策では、製作者の責任が問われることになった。業界として対応を迫られている。

塗料製造=景況が停滞している中、シックハウス対策としてホルマリンの規制が打ち出されており、木工塗料関係者は特に厳しく受け止めている。

ネジ類製造=停滞基調が続いている。唯一自動車産業のみが好況を持続してい

る。トラック車は排ガス規制の影響で部品の受注が増加傾向にある。

業務用食品卸=飛び石連休などで売上を期待したが、焼き肉店は好調だったがホテル、レストランは低調だった。

電線卸=2003年問題といわれるオフィスビルの過剰問題が、我が業界にも実感として受け止められるほど引合いが減少。

スポーツ用品卸=消費税額の総額表示については、カタログ等の問題があり、各社の課題となっている。

玩具人形卸=GW後の状況は「悪い」の一言に尽きる。リード商品がなく、低価格も限界。夏商戦まで我慢が続く。

木材卸=建築基準法の改正に伴う、シッ

クハウス対策によりベニヤ・新建材の
価格が総じて上げ気配である。

古書籍販売=業界は低空飛行のままで推
移している。その中で、サブカルチャ
ー系の古書籍類は趣味性も高く需要も
あり新分野として注目されている。

秋葉原電気街=5月は神田明神の夏祭
り、浅草三社祭りが続き、街全体は賑
わったが、売上は前年に及ばない。秋
葉原再開発工事が進み、昭和通り口も
変わる。

新宿専門店=加盟店の売上は引き続き低
迷しており、特に飲食店、特飲店（パ
ー、クラブ）の不振が目立つ。

＜要望事項欄より＞

＊八百屋はディーゼル車を市場と店の間
しか使用していない。そのため走行距

離は少ない。たとえ、部品を取り付け
ても2年間でディーゼル車は禁止され
る。今の経済状況では非常に厳しい。

【青果物小売】

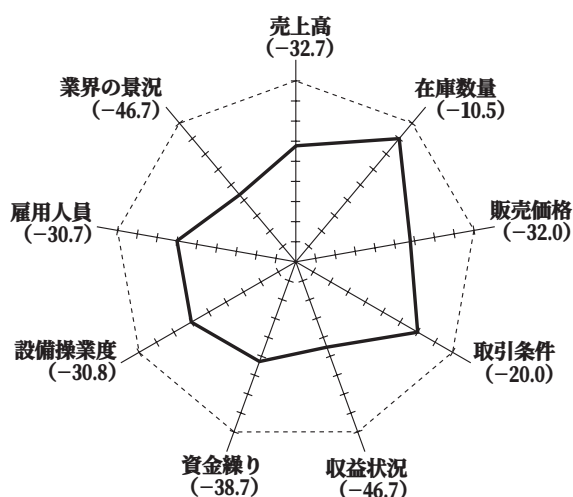
＊食品の安全・安心を求め、国産志向が
若年層に強く、国産大豆に切り替える
ところが増加している、安定供給
を望む。

【豆腐小売】

＊無駄とは思いますが一言。商品の小売
価格に消費税を含んで表示する総額表
示（内税表示）が16年4月から施行さ
れるとのことですが、元々外税方式の
ほうが転嫁しやすいということでこの
方式が一般化していたはず。ご都
合主義の政策変更により怒りを覚えます。

【家具小売業】

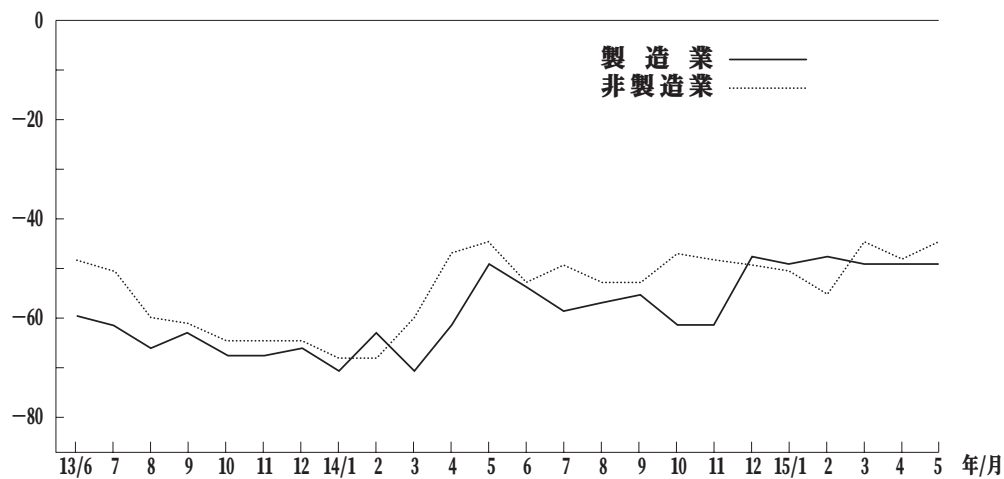
5月のレーダーチャート（全産業、前年同月比DI値）



（注）点線の9角形が「DI=0」を示す。したがって、点線の内側は「減少」「低下」「悪化」、外側は「増加」「上昇」「好転」となる。

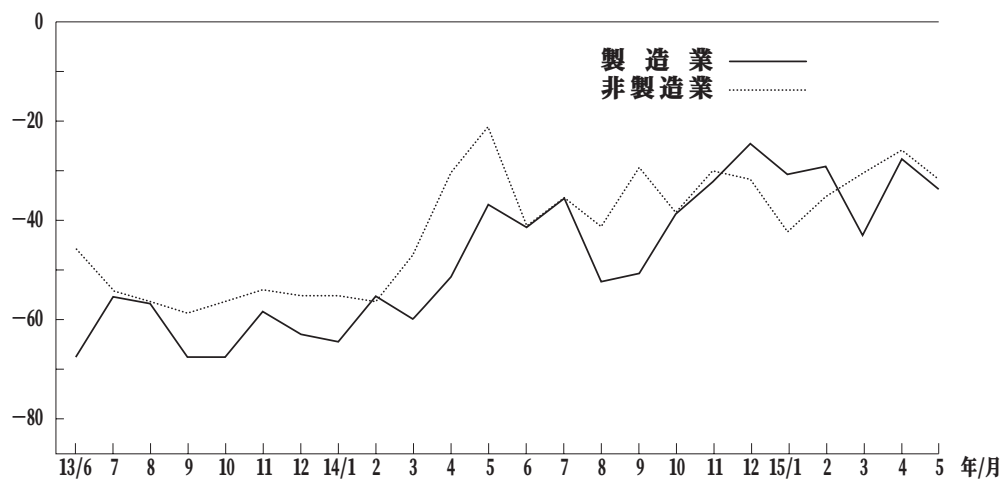
業界の景況DIの変化

(前年同月比)



売上高DIの変化

(前年同月比)



(注)DIとは、ディフュージョン・インデックスの略で、前年同月に比べ「増加」・「上昇」・「好転」したとする割合から「減少」・「低下」・「悪化」したとする割合を差引いた値である。